

2020年6月28日主日礼拝

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会

招詞：イザヤ書 60 章 1 節～2 節

「起きよ。輝け。まことに、あなたの光が来る。主の栄光があなたの上に輝く。見よ、闇が地をおおっている。暗黒が諸国の民を。しかし、あなたの上には主が輝き、主の栄光があなたの上に現れる。」

賛美：教会福音讃美歌 177 「愛するイエスよ」

1. 愛するイエスよ みことば慕いて 御前に集い み声に聴き入る
主よ、わが心は み教えの中に
2. 御霊の光 わが身を照らせば 知恵と悟りは 闇より解かれる
みむねを宿して みこころのままに
3. 栄えの御子よ 光の光よ 心くだかれ くちびる解かれて
祈りとほめ歌 みこころの中に

聖書朗読：民数記 9 章 15 節～23 節

- 15 幕屋が設営された日、雲が、あかしの天幕である幕屋をおおった。それは、夕方には幕屋の上にあって朝まで火のようであった。
- 16 いつもこのようであって、昼は雲がそれをおおい、夜は火のように見えた。
- 17 いつでも雲が天幕から上るときには、その後でイスラエルの子らは旅立った。また、雲がとどまるその場所で、イスラエルの子らは宿営した。
- 18 主の命によりイスラエルの子らは旅立ち、主の命により宿営した。雲が幕屋の上にとどまっている間、彼らは宿営した。
- 19 雲が長い間、幕屋の上にとどまるときには、イスラエルの子らは主への務めを守って、旅立たなかった。
- 20 また、雲がわずかの間しか幕屋の上にとどまらないことがあっても、彼らは主の命により宿営し、主の命により旅立った。
- 21 雲が夕方から朝までとどまるようなときがあっても、朝になって雲が上れば、彼らは旅立った。昼でも夜でも、雲が上れば旅立った。
- 22 二日でも、一月でも、あるいは一年でも、雲が幕屋の上にとどまって、去らなければ、イスラエルの子らは宿営を続けて旅立たなかった。しかし、雲が上ったときは旅立った。
- 23 彼らは主の命により宿営し、主の命により旅立った。彼らはモーセを通して示された主の命により、主への務めを守った。

賛美：教会福音讃美歌 228 「栄光あふれるシオンの町は」

1. 栄光あふれる シオンの町は 岩の上に建つ 御神の都
ゆるがぬ救いに かたく囲まれ 敵をも退け 安きをたもつ
2. 愛の泉により あふれる水は 御民をうるおし 恐れをのぞく
渇きを消し去り 力に満たす 御神の恵みは 変わることなし
3. 旅路をみちびく 雲の柱は 御神の守りと 栄光しめす
夜には火をもて 御民を照らし 日ごとの糧をも 備え養う
4. 御民は主イエスを 信じて仰ぎ 血潮に洗われ 恵みを受ける
とうとい王なる 祭司とされて 感謝と讃美を 神に献げる

頌栄：教会福音讃美歌 275 「父なる神に」

父なる神に 御子なるキリストに
聖霊なる神に
栄光が とこしえまで あるように アーメン

